

自転車通勤のエゴ

最近都内を暴走する自転車に閉口しています。

朝の通勤渋滞の中で、奴らは自動車と変わらないスピードで、その多くが信号を無視して、一心に目的地の勤務先に向かって走り続けます。前方に駐車車両があると何と中央の車線まで侵入してきて、怖いことこの上ない有様です。信号をまともに守ったり、一旦停止をしていると早く到着しないのでしょうか。

彼らは自分の事しか考えていません。運転中の顔を見れば分かります。自己の健康の為、上がらぬ小遣い金を稼ぐ為等、色々理由はありますが、何が腹が立つかといえば、左側の一車線を独占することです。

自転車は生身ですので、車で引っかけたら大変なことになります。そのため多くのドライバーは真ん中と右側車線に集中します。その結果、最近では従来よりも10分以上時間がかかるようになりました。

私にとって、また多くのドライバーにとって時間は大切だと思います。仮にこの時間帯に500台の車が走っていると、朝はほぼ単独で乗車していますので、500名のドライバーがいることになります。その500名が10分ずつ失うことになります。5,000分は時間に直すと83時間に相当します。時給平均2,000円とすると166,000円×2【+夕方】/1日です。土日を除き月に22日として7,304,000円の損失です。さらに社会保険労働保険も計算すると……。

このような現象が東京都心だけでなく、全国のいたるところで同様の現象が起きていることになります。これは国家としての経済的損失といえます。

私が何故このテーマを取り上げたかといいますと、何と当社でも自転車通勤希望の申請が上がってきたからでした。

当社では、普段からお客様の時間の創出のお手伝いをするを経営ビジョン(下記ご参照)に掲げております。



経営ビジョン(私たちは実現します)

1. 我々は、全国の中堅中小企業の経営者とその会社で働く社員を元気にし、活性化することを目指します。
2. 「法律を遵守」すると共に、「法律からお客様を守る」ことが我々の使命です。
3. 問題の本質を見極め、最適な解決法を導く「企業ドクター」として、経営者の“時間の創出”と“安心の提供”を目指します。

普段から時間を大切にできる人は、自分の時間だけでなく、他人の時間も大切にしなければなりません。社内で徹底しなければならないことは、このことです。

「人生は、何かを成し得ようとする人には短すぎるが、何もしない人には長すぎる。」

少なくとも多くの使命を背負って、苦しみながらも、前向きに進んでおられる経営者の皆さんの、お役に立つことをモットーに仕事をさせていただいている我が社においては、時間を喪失することに加担してほしくはありません。

当該社員には面接の上、私が普段、“暴走自転車通勤者”に対して思っていることを伝えました。またお客様から、社員の自転車通勤の可否について尋ねられたら、どのように回答するか聞きました。仮に、「私も自転車通勤してますので、いいと思います……。」などと回答した場合、お客様はどのように感じられるか、十分考えてみるように伝えました。

その後本人から撤回の申し出がありました。

目出度し 目出度し！